

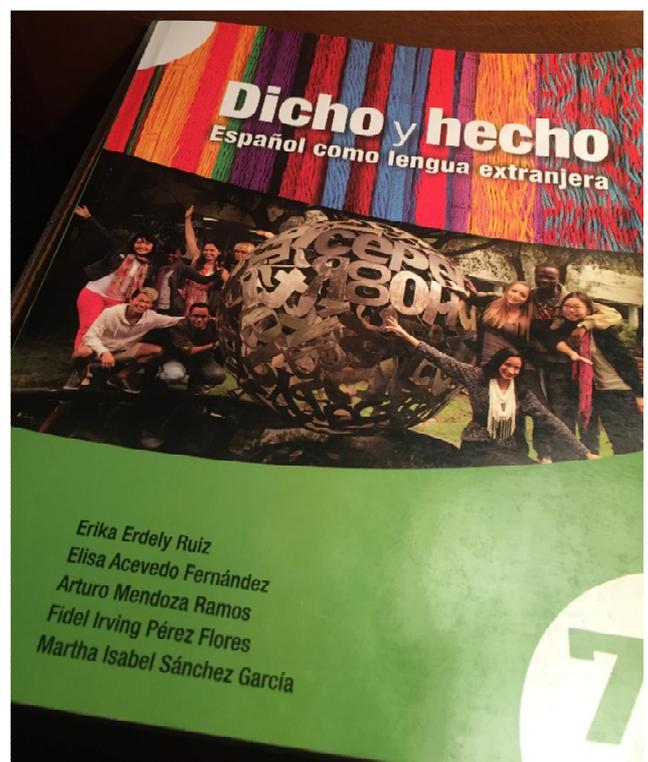
3月に入り、再び新しいスペイン語のクラスがスタートしました。私は今回から中級レベル3。中級レベル2まで終えることができると CEPE を卒業してもいいことになっており、インターシップや大学の聴講生になる研修生も多く存在します。私がメキシコに来た理由はスペイン語の能力をできるところまで高めることなので、引き続き CEPE に通いつける日々を送っています。

しかしレベルが上がるごとに文法事項はますます難しくなり、宿題の量や授業の内容の重さに毎日完全に翻弄されています。基礎レベルのクラスに所属していた時も授業についてのレポートは書いたのですが、今回は中級レベルの授業について少し書きたいと思います。

中級レベルの授業

以前も書いたように、CEPE には基礎レベルのコースが0～4まであり、その上に中級レベルが1～3、さらにその上に superior というハイレベルクラスがひとつあります。中級レベルになると教科書で扱う内容も一気に難易度が高くなり、文法事項も内容の濃いものになっていきます。教科書で扱う内容としてはメキシコの歴史、アステカ・マヤ文明、移民問題、社会問題などが挙げられます。基礎レベルで習った文法事項でも十分コミュニケーションは取れると思いますが、中級レベルからはネイティブの使う表現を学んだり、フォーマルな文章を書く練習をしたりします。

様々な分野の単語に触れるために、時には科学、医学、地学など非常に親しみにくいテーマを扱うこともあり、大変苦労しています…。



中級レベルになるとパワーポイントを使った発表をする機会が増え、個人で発表準備を行ったりグループで行ったりもします。発表のテーマも様々で、ラテンアメリカの国について調べて観光プランを立てるといったものや、先住民族の医療について調べて発表するなど、とてもハイレベルなものもあります。

ハイレベルな授業ですが、将来スペイン語を使った仕事に就きたいと思っている人にとっては大変価値のある授業だと言えます。授業の進行が早くてついて行けずに落ち込む日も時々ありますが日々少しずつ精進することが自分の糧になることを信じて勉強に励みたいと思っています。

ちなみにスペイン語以外の午後からのクラスは中級レベル1～3合同で行われています。メキシコの伝統料理が学べるクラスや、さらに専門的にメキシコの歴史を学べるクラスなど、大変興味深いものばかりです。

さて、学生の本分は勉強。もちろん勉強も大事ですが、せっかくメキシコにいたので週末や長期休暇にはいろいろな場所を訪れることも大事ですよ。様々な地を訪れることで、現地に住む人々の様子や歴史について触れることができます。3月は最初の週末に、ミネラル・デル・モンテというメキシコの歴史を実感できる産業遺産を訪れました。

ミネラル・デル・モンテ

標高 2700 メートルの高地にミネラル・デル・モンテ（レアル・デル・モンテと言われることもある）という鉱山の町があります。最盛期には世界の 6 パーセントもの銀を産出していたそうですが、現在では多くが閉山となっています。

今回は「メキシコ京都クラブ」という日本からの移住者、駐在の方で構成された県人会の皆様のお遠足にお邪魔させていただき、楽しいひと時を一緒に過ごさせていただきました。



観光バスに乗って町並みを見て回るができます。メキシコシティーから二時間ほど離れた場所なのですが、雰囲気はまったく違います。町の人々、旅行客問わずみんながまったりと過ごしている感じがしました。

現在も採掘がおこなわれている鉱山もありますが、炭鉱のいくつかは博物館や見学用に整備がされています。

パステ作り体験！

エンパナーダによく似たパステという食べ物。手で簡単に手早く食べることができるので炭鉱夫たちの昼ごはんとして食べられていたそうです。この町ではタコス屋よりもパステ屋が多く存在し、町中にパステのおいが漂っています。パステ作りを体験できる博物館を訪れ、実際に挑戦してみました！が、ちょっと形が悪いですね。

